

個人投資家の皆様へ 会社説明会

2025年12月12日



証券コード 3023

ラサ商事株式会社

<https://www.rasaco.co.jp/>

目 次

- 【第1部】 当社グループの概要
- 【第2部】 事業の概要・特徴
- 【第3部】 当社グループの強み
- 【第4部】 当社グループの中期経営計画
- 【第5部】 株主還元、配当、株価など
- 【第6部】 資料編

【第1部】 当社グループの概要



ラサ商事株式会社

1. 社名の由来



ラサ商事株式会社

- 沖縄県に属する「沖大東島」の通称「**ラサ島**」に由来
- このラサ島でリン鉱石を採掘したのが、ラサ工業(株)



当社設立(1939年)~

【当初】

- ラサ工業(株) (東証プライム、証券コード4022) の商社部門を分離独立して設立

【現在】

- 現在は**独立系商社**として発展
- ラサ工業(株)とは、建設機械等において良好な取引関係を継続
(シールド掘進機等)

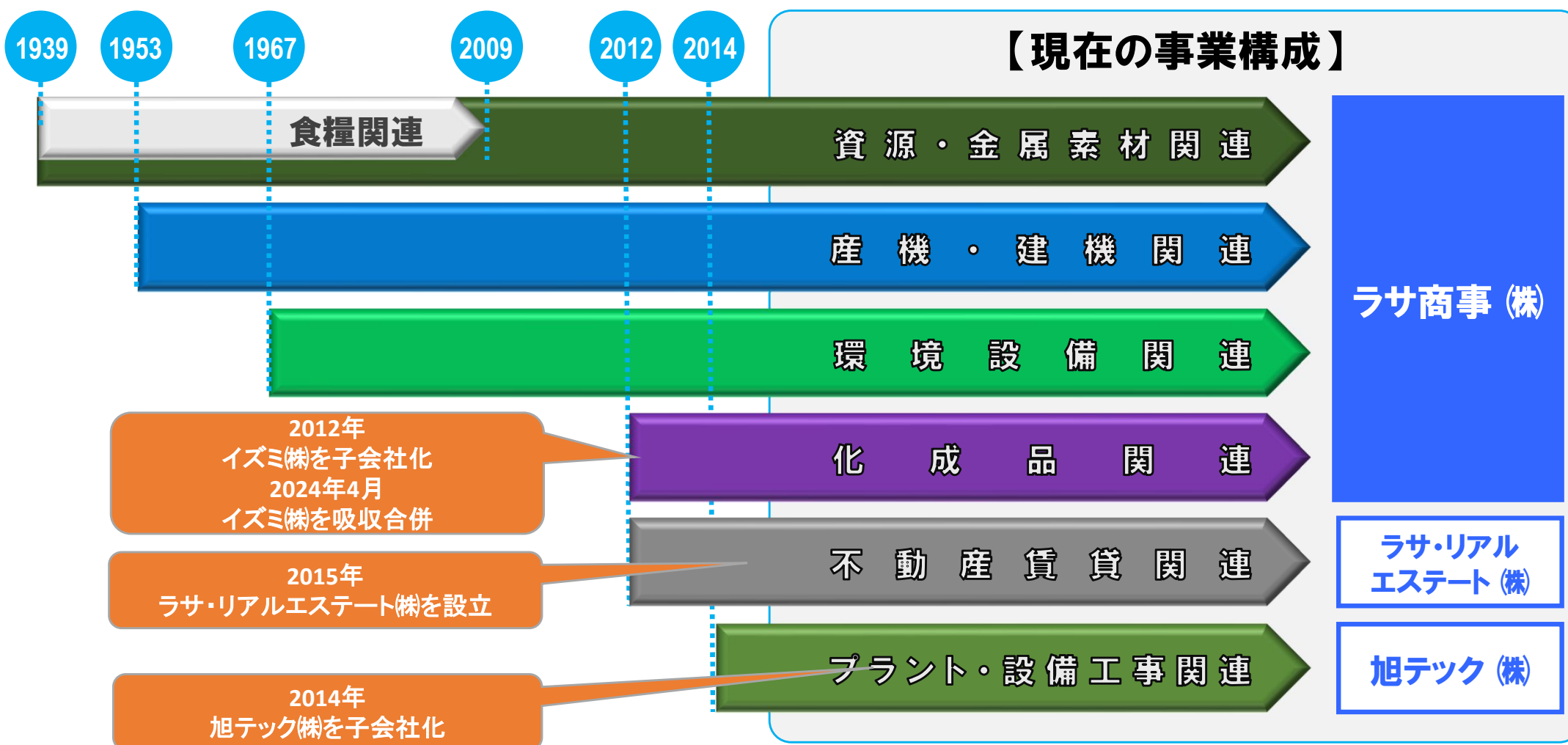


(“ラサ”はラテン語系で「平ら」を意味する)

2. 事業の変遷（事業拡大の推移）

創業86周年を迎えた独自性の高い技術商社。

2012年以降、M&Aなどによる積極的な成長戦略を推進し、現在、6つの事業を展開。





【第2部】 事業の概要・特徴



ラサ商事株式会社

1. 資源・金属素材関連事業の特徴

ジルコンサンド 国内No.1サプライヤー



▲ 鉱山(オーストラリア)



▲ 結晶
(拡大写真)

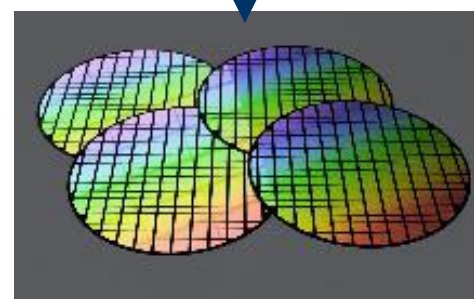
- ジルコンサンドの産地は世界的に限定的
→生産量世界第1位のアイルカ社(オーストラリア)との間で、国内における総販売代理店契約
- 国内販売シェア約50%前後



耐火材



鑄造用鑄型



シリコンウェハーの研磨材料



セラミックの釉薬

2. 産機・建機関連事業の特徴

国内シェアNo.1を争う「スラリーポンプ」分野を構築

～全国をカバーする技術サポート体制により、お客様との強固な信頼関係を構築～



ワームポンプ

**メンテナンス性に優れ、
耐腐食・耐磨耗ポンプで業界トップクラス
材質の交換により様々な液体に対応し
国内の主要企業が納入先**

非鉄・製鉄
精密機器・
半導体

電力・
インフラ
化学

セラミック
その他、幅広い
業界へ納入



ヒドロスタル
ポンプ



ヒドロスタル
水中ポンプ
(BCP対応)



フェルバダイヤ
フラムポンプ
ピストンポンプ



多目的可搬式
エンジンポンプユニット
SUPER BETSY
(BCP対応)



ブツマイスター
ピストンポンプ



URACA高圧プランジャーポンプ

* スラリーポンプ: 固形物が混ざった液体を送ることができる高耐性の特殊ポンプ

東海地区の【インフラ事業】に貢献するラサ商事のポンプ事例

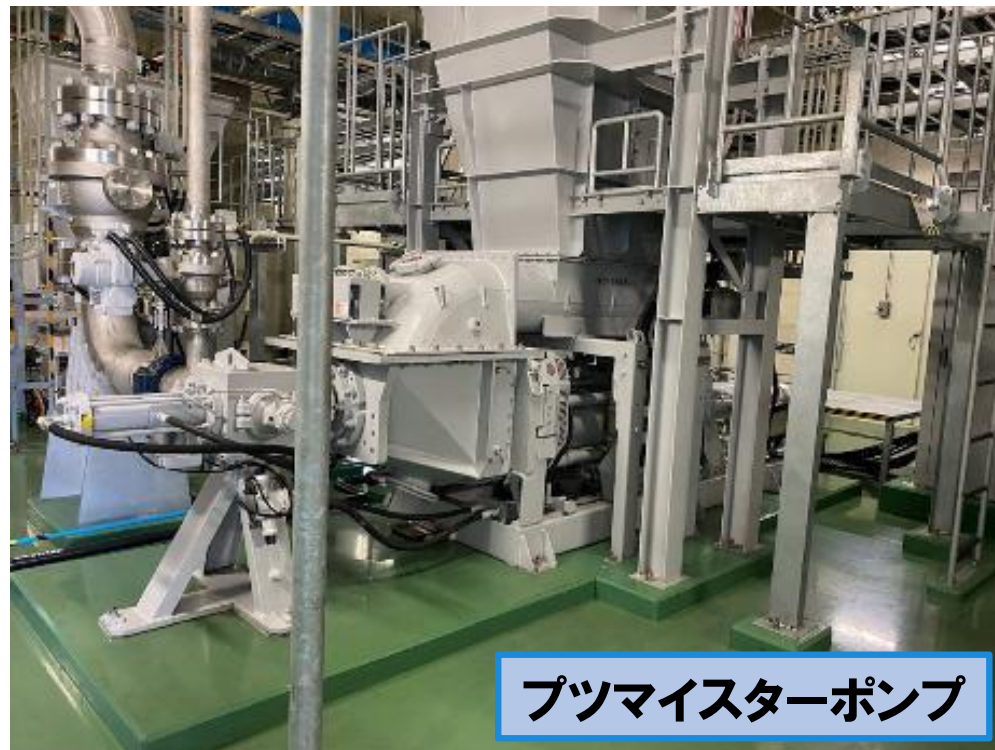
中部電力管内 火力発電所

石灰石スラリーを循環させ排ガス中の硫黄酸化物を除去する大型循環ポンプ。
長期間の安定運転が求められる現場で活躍。



名古屋市 上下水道局

水処理センターで処理された流動性の低い下水汚泥を圧送する大型ポンプ。
経済的かつ、信頼性のある搬送システム。



3. 環境設備関連事業の特徴

「水砕スラグ製造設備」のパイオニア、実績と経験は業界随一

1967年に世界で初めて水砕スラグ製造設備のクローズド・システムを開発



● 製鉄所に必要不可欠な環境保全技術

【装置の概要】

銑鉄生産時に高炉から発生する副産物である
熔融スラグを最適処理し、再利用を可能にする技術

● 生成されたスラグは、主にセメント業界で再利用

【主な使用用途】

- ・セメント用原料
- ・路盤材の原料
(道路や駐車場などの舗装の下に敷かれる原料)
- ・フロンティアロック
(港湾・空港・漁港で使用する人工石)
など

4. 化成品関連事業の特徴

幅広い業界に多種多様な化学製品を供給

【主な取扱品目】

- **プラスチック**
(合成樹脂、樹脂添加剤)
- **シート・フィルム・テープ**
(各種樹脂フィルム、金属箔、ほか)
- **各種加工製品**
(押出製品、射出製品、ほか)
- **油脂・ケミカル**
(ケミカル、その他化学品)



自動車分野
建材分野
半導体・工作機
械分野
など

5. プラント・設備工事関連事業の特徴

プラントを主力マーケットとする技術系企業

ATC 旭テック株式会社

京葉臨海コンビナートの大手企業が顧客



【工事】

- 各種プラント建設工事の設計・施工、メンテナンス工事
⇒ 石油精製・化学・食品・薬品・半導体など
- 空調など配管工事の設計・施工、メンテナンス工事 など

【工場加工】

- プラント・設備など各種配管のプレハブ加工
- 各種鋼材品・製缶品の工場加工 など

【主な特徴】

大手中心の
顧客基盤
(安定受注)

京葉臨海
コンビナート
約50社と取引

元請比率
50%前後

大手
ポンプメーカー
の認定工場



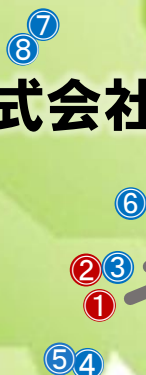
本社・袖ヶ浦第1工場、第2工場
(敷地面積: 各6,000坪、合計12,000坪)

6. 不動産賃貸関連事業の特徴

不動産賃貸事業の有効かつ効率的な展開を図り、収益に貢献

2021年3月期以降、東京都と埼玉県に所有不動産を集約、効率的に管理

ラサ・リアルエステート株式会社
【主な賃貸不動産】



① RASA日本橋ビル
(ラサ商事(株)本社4～8階) 中央区日本橋蛸殻町

② イズミビル 中央区日本橋本町

③	イズミビル隣地駐車場	中央区日本橋本町
④	大手コンビニへ賃貸	世田谷区奥沢
⑤	〃	世田谷区上野毛
⑥	外食事業へ賃貸	川口市南鳩ヶ谷
⑦	貸駐車場	上尾市緑ヶ丘
⑧	土地区画整理地	上尾市今泉

【第3部】 当社グループの強み



ラサ商事株式会社

1. ラサ商事株式会社の強み

① ニッチ市場における“トップシェア”

② 「商社の枠組み」を超えた提案力・技術力

③ 健全な財務体質

2. 強み① ニッチ市場におけるトップシェア

資源・金属素材関連

ジルコンサンド

産機・建機関連

ワーマンポンプ

環境設備関連

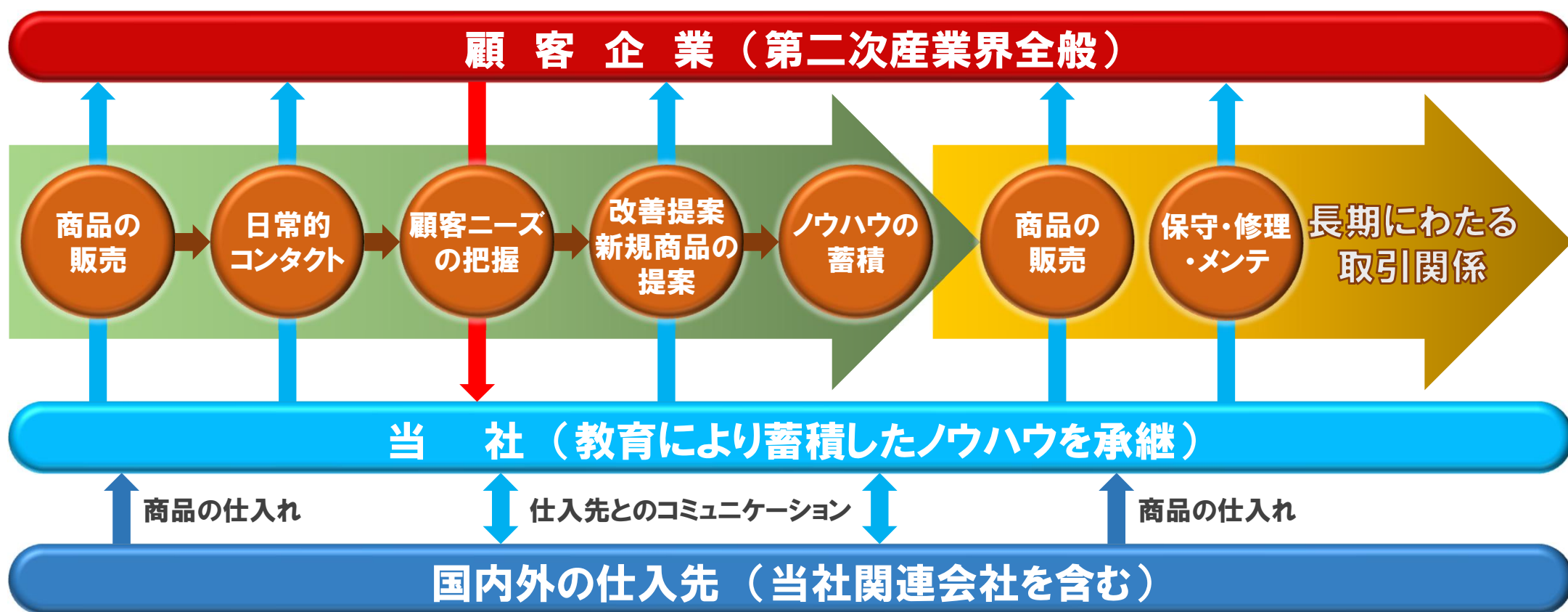
ラサ・システム
(水砕スラグ製造設備)

各事業に「トップシェア(業界No.1~2)の商品」を保有し、
それを基礎とした商品・サービスの拡充を展開

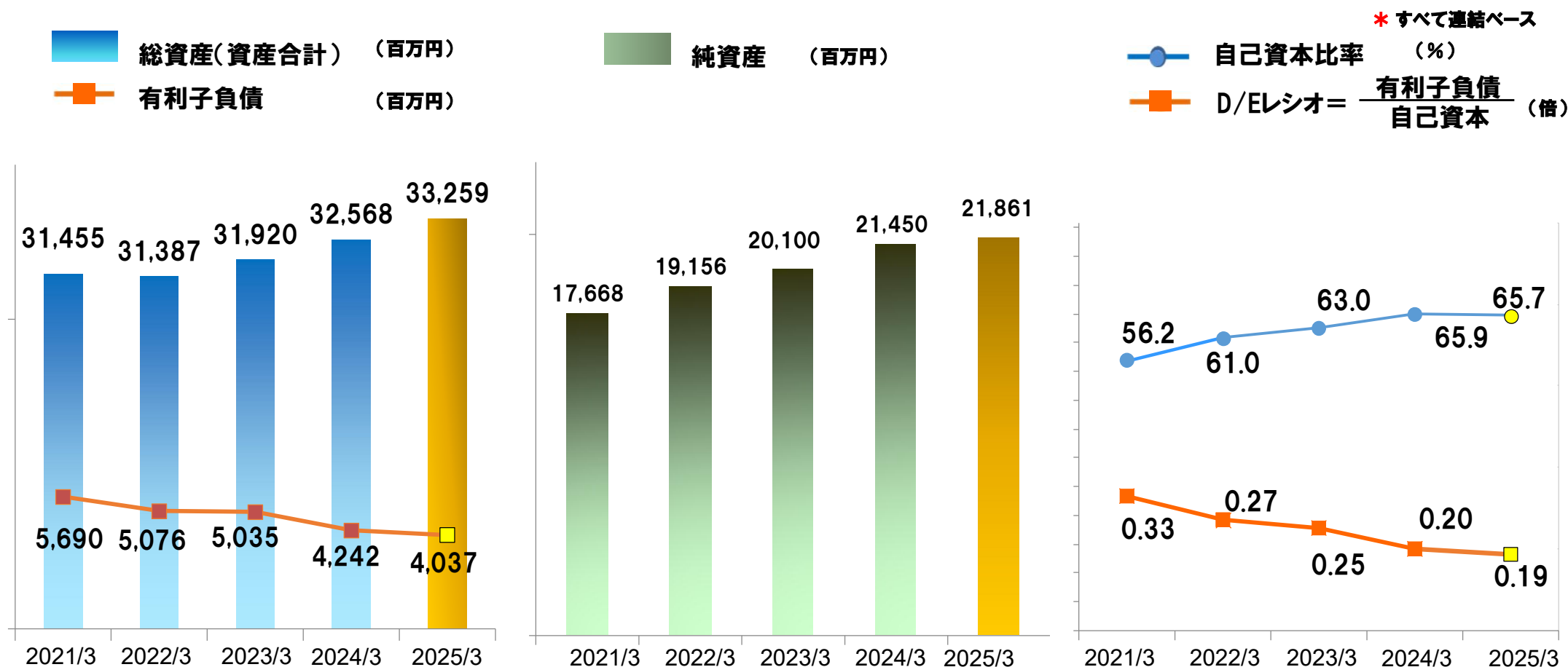
収益の安定性

2. 強み② 「商社の枠組み」を超えた提案力・技術力

提案型営業を行う技術商社



2. 強み③ 健全な財務体質



将来の成長に向けた設備投資やM&Aなどを
適時・的確に実施していくことができる盤石の財務基盤

【第4部】 当社グループの中期経営計画



ラサ商事株式会社

1. 中期経営計画

“Step Forward” Rasa 2027 ～ 成長のステージへ ～

企業理念の追求と長期ビジョンの実現に向けて
3つのステップで中期経営計画を推進

STEP-1

中期経営計画
2024

2025年3月までの3年間で、
第1ステップの取り組みを終えました

STEP-2

中期経営計画
2027

2025年4月より、第2ステップの
新たな3か年がスタートしました

STEP-3

中期経営計画
2030

企業理念

世界に通用する一流技術商品と
有用な価値ある資源を国内外に
販売し、豊かな社会に貢献する

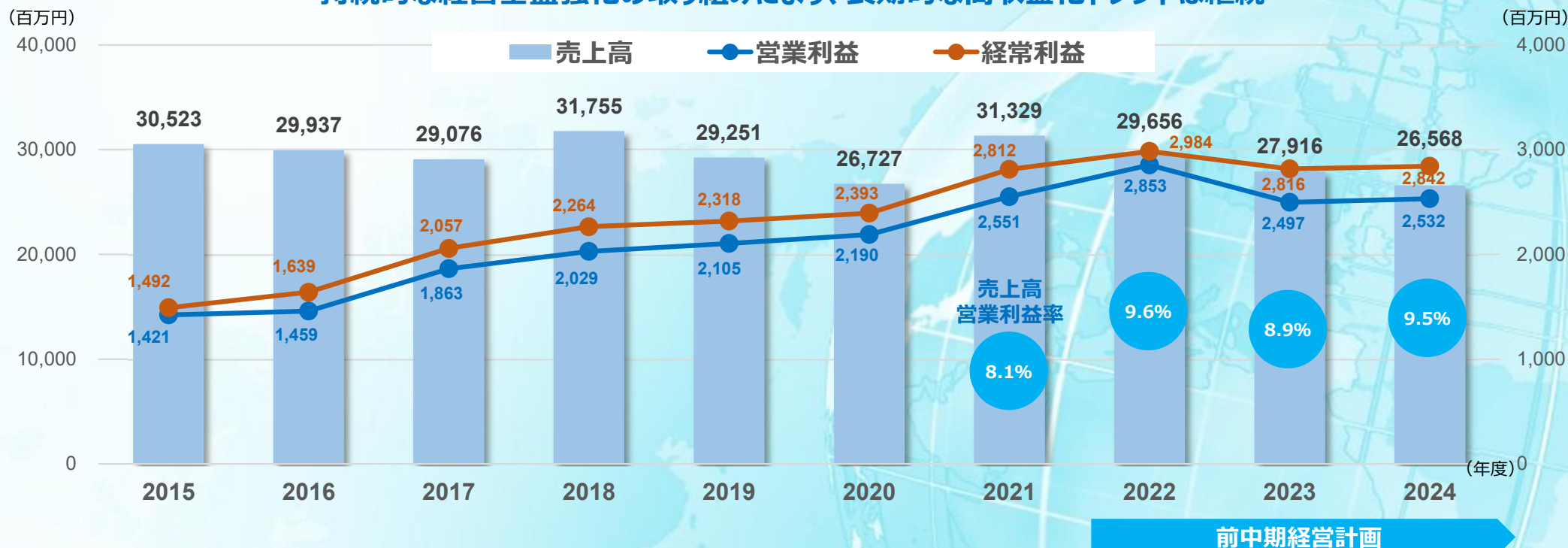
長期ビジョン

(2031年度の目指す姿)

専門商社の枠組みを超えて、
**社会のインフラを支える
付加価値創出企業へ**

2. 前中期経営計画の評価 ①業績など

前中期経営計画の3か年は売上・利益ともに漸減傾向となったものの、
持続的な経営基盤強化の取り組みにより、長期的な高収益化トレンドは継続



- 2021年3月に判明した連結子会社における不適切会計事案への反省から、グループ・ガバナンスの確立を最重要課題と位置づけ、グループ企業の内部統制再構築に取り組んできた

⇒ グループ・ガバナンスの確立に向けた制度やシステムの構築を図ることができた

- 目まぐるしく変化する環境にも柔軟に対応できる組織体制を整備し、持続的な企業価値向上に取り組んできた

⇒ グループ全体で適切な事業運営体制や収益基盤の強化が進んだ

2. 前中期経営計画の評価 ②各事業部門の取り組み

具体的な事業展開においては、「既存事業の収益基盤強化と新規事業機会の獲得」を重点施策として掲げ、次のような取り組みと成果が得られました。

事業名称	取り組み概要
資源・金属素材関連	<ul style="list-style-type: none"> ▶ アイルカ社との良好な関係維持によりジルコンサンドの安定的な調達を継続しつつ、受注残や受注見込みを勘案し、安定供給が可能な適正在庫管理を実施 ▶ 新たな資源関連商材の開拓は、継続取り組み中
産機・建機関連	<ul style="list-style-type: none"> ▶ BCP関連市場開拓の着実な進捗 <ul style="list-style-type: none"> ・多目的可搬式ポンプユニット「SUPER BETSY」の改良と全国自治体への導入拡大 ・公益社団法人日本下水道新技術機構との共同研究で技術マニュアルを作成し、「下水処理施設向け耐水型汚泥ポンプ」の販売を開始 ▶ 国のグリーンエネルギー戦略に即した製品開発は継続取り組み中 ▶ 環境負荷を低減した小口径掘進機の開発を果たし、納入実績も獲得
環境設備関連	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 非鉄製錬ユーザー等への水砕スラグ製造設備ラサ・システムの販売強化と設備負荷を軽減する高機能水処理用薬品の開発に取り組み、一定の成果を獲得 ▶ 官庁向け案件では、低含水率汚泥用高圧ポンプを納入し、安定稼働中
プラント設備・工事関連	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 1800坪の工場建屋を活かして、建築現場で組み立てる部材をあらかじめ製作することで、大型加工工事の受注強化を推進し、一定数の大型案件受注に成功 ▶ 官庁における整備案件の受注強化にも取り組み、元請けとしての初受注に成功
化成品関連	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仕入先メーカーとの関係強化を推し進めた結果、メーカーとの直接取引を実現
不動産賃貸関連	<ul style="list-style-type: none"> ▶ テナントや駐車場の賃料改定等による増収を実現、保有不動産の有効活用も継続

3. 新中期経営計画の位置付けと重点施策

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
--------	--------	--------	--------	--------	--------

前中期経営計画 “Resilience” Rasa 2024 ～ 再生から飛躍へ ～

グループ・ガバナンス確立を最優先課題に、
今後の中長期的な企業価値向上に必要不可欠
な経営基盤の強化を推し進める3か年

新中期経営計画 “Step Forward” Rasa 2027 ～ 成長のステージへ ～

前中期経営計画で強化を図ってきた経営基盤の
もと、新たな成長のステージへの一歩を踏み出して
いく3か年

【重点施策】

①

新規・成長分野
への取り組み

②

既存領域の深耕

③

事業活動を通じた
サステナビリティ経営
の推進

4. 重点施策の概要 1/3

1

新規・成長分野への取り組み

新規分野



成長分野

新しい取引先および 商品の開拓

- ▶ 伸長している海外マーケットの重点エリアにおける販売体制強化（建設機械など）
- ▶ 新規商材の開拓に向けた市場調査および販路開拓（資源・金属素材関連のレアアース、化成品関連の電線部材など）
- ▶ 取引先拡大に向けた新規業種への提案（電子部品、食品関連など）

成長事業^{*}の模索および 主体的なM&Aの検討

^{*} 成長事業 = 当社グループにとって成長が期待される分野の事業や、グループシナジーの発揮が期待される分野

- ▶ 「M&A推進委員会」の立上げ（営業本部・管理本部合同）
- ▶ 主体的なM&A案件発掘への取り組み強化

4. 重点施策の概要 2/3

2

既存領域の深耕

新たな成長ステージを支える安定基盤として、既存事業の安定的成長を図る

事業名称	深耕の概要
資源・金属素材関連	<ul style="list-style-type: none">▶ 高品質なジルコンサンドを安定供給するための在庫水準コントロール強化▶ 倉庫および通関関連業務の最適化
産機・建機関連	<ul style="list-style-type: none">▶ 官民連携によるストックマネジメント※推進を通じた各種ポンプ案件の獲得 ※ストックマネジメント：下水道施設の老朽化を予測し、点検・調査、修繕・改築を効率的に実施すること▶ グループ会社との共同戦略による製販連携▶ 現場でのポンプ診断による提案営業を通じた需要喚起▶ クリーンエネルギー（バイオガス発電等）案件への積極的な参画
環境設備関連	<ul style="list-style-type: none">▶ 老朽化ポンプの更新および整備の需要獲得と付属機器や部品の販売▶ 低含水率汚泥用の高圧ポンプの拡販
化成品関連	<ul style="list-style-type: none">▶ 地政学リスクに対応した仕入の多様化等による販売力強化▶ マーケティングに基づく試作品のサンプル提案による需要の創出
プラント設備・工事関連	<ul style="list-style-type: none">▶ 工事人材の採用強化および研修・現場教育を通じた人材育成の推進▶ 協力会社との更なる連携の強化（既存協力会社の育成、新規協力会社の開拓）
不動産賃貸関連	<ul style="list-style-type: none">▶ 保有不動産に関する有効活用や物件入れ替えの検討・実施▶ 賃貸ビルの資産価値維持に向けた計画的な大規模修繕の実施

4. 重点施策の概要 3 / 3

3

サステナビリティ経営の推進

脱炭素社会と環境保全への貢献

- ▶ CO2排出量の削減
(2027年度までに2021年度対比で35%以上の削減)
- ▶ 環境負荷低減商品の市場調査および開拓
- ▶ 非常災害時における社会インフラおよび地域社会への貢献

予 防 策

耐水化ポンプの活用

復 旧 支 援

可搬式の排水ポンプユニット
「SUPER BETSY」の提案



組織と人材の活性化

- ▶ エンゲージメント調査を活用した組織課題への対応
- ▶ 育児、介護、障がい者雇用など多様性に配慮した働き方の推進

グループ・ガバナンスの確立

- ▶ 旭テック株式会社におけるシステムの改善（カスタマイズ）と活用的高度化
- ▶ 旭テックおよび化成品部（旧イズミ株式会社）における内部統制機能の浸透

5. 経営目標と財務方針

	2024年度 (実績)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)	2027年度 目標
業績目標	売上高	265億円	280億円	295億円
	営業利益	25億円	25億円	27億円
	経常利益	28億円	27億円	29.5億円
	親会社に帰属する 当期純利益	20億円	20億円	21.5億円
経営指標	R O E	9.6%	—	10%以上
	売上高営業利益率	9.5%	—	9%以上

【経営環境と取り組みの方向性】

米国の政策による国際情勢の複雑化やウクライナ・中東地域をめぐる情勢、中国における景気低迷、外国為替相場の変動リスクの影響といった懸念要素がある中、3つの重点施策を着実に実行し、新たなステージへの一步を踏み出すことで、ニッチな各事業分野での存在感を更に高め、経営目標の達成を目指す

財務方針

投資方針

財務の健全性に配慮しつつ、**企業価値向上に資するM&A案件については、機動的に対処するとともに、将来を見据えた能力増強や業務効率化に資する投資も継続して行う。**

* 本中期経営計画には新たなM & Aによる売上や収益への寄与は織り込んでおりません。

特に、M&Aについては、**【重点施策1：新規・成長分野への取り組み】**に対応して、**従来以上に積極的かつ主体的な姿勢でM&A案件の発掘に臨む**

株主還元方針

- 株主様への利益還元については、重要な経営課題との認識のもと、推し進める
- 「配当性向は引き続き40%前後」の水準を維持
- 機動的な自己株式の取得も行い、新たな方針に「総還元性向50%以上」を加える

【第5部】株主還元、配当、株価など



ラサ商事株式会社

1. 株主還元方針について

配当実績 (1株当たり)

● 2025年3月期実績 72円

【中間】 34.0円

【期末】 38.0円

● 2026年3月期実績・予想 72円

【中間】 36.0円 (実績) 【期末】 36.0円 (予想)

株主還元方針

配当性向



40%前後

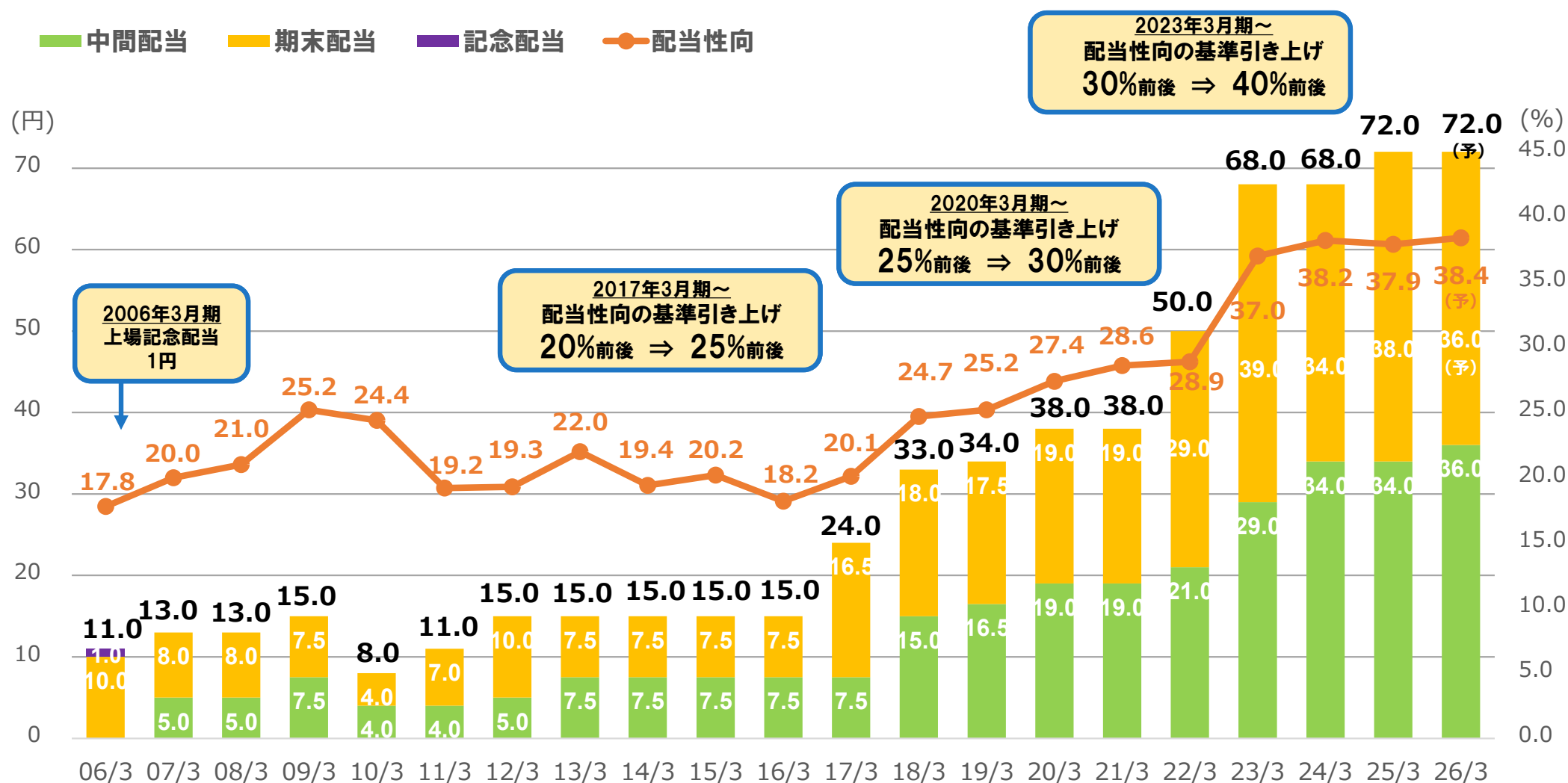
総還元性向



50%以上

2. 配当について これまでの配当実績

2026年3月期からは株主還元方針として、配当性向は引き続き40%前後の水準を維持し、新たに「総還元性向50%以上」を加える



3. 株価の推移

銘柄コード 3023

株価（2025年11月28日終値） **1,798円**（時価総額20,468百万円）

配当利回り 4.00%

PBR 0.86倍、PER 9.46倍





ラサ商事株式会社

● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

● IRに関する問い合わせ先

ラサ商事株式会社 経営企画室

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング

TEL : 03-3668-8232

URL : <https://www.rasaco.co.jp/> *「お問い合わせ」をクリックしてください。



【第6部】 資料編



ラサ商事株式会社

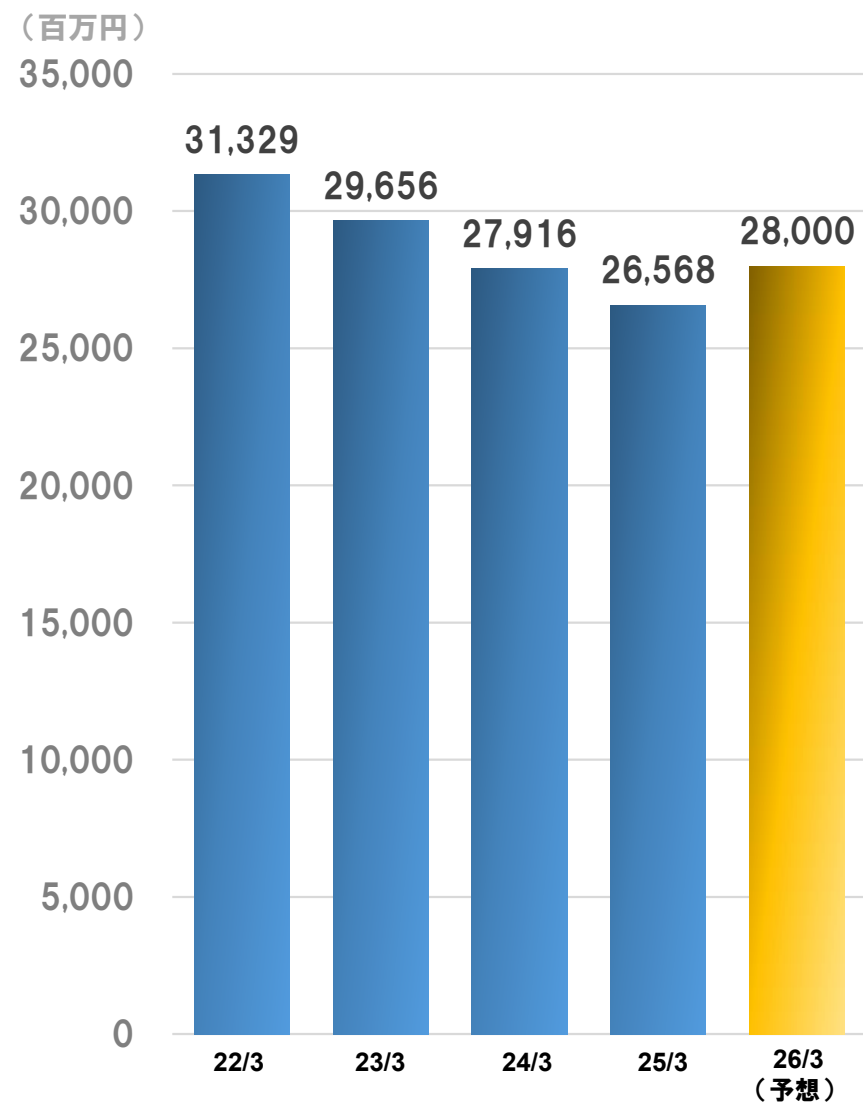
1. 業績動向

(単位:百万円・%)

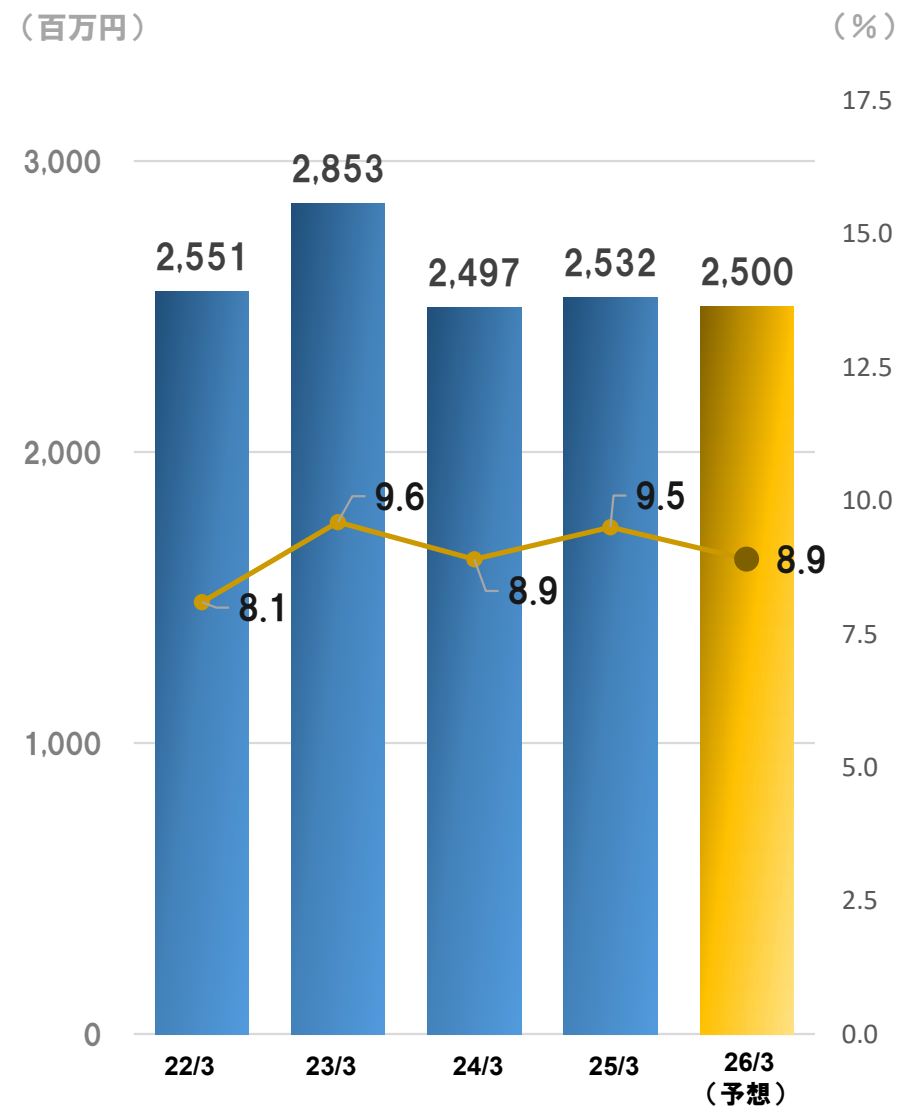
	前期 (2024.9)		当第2四半期 (2025.9)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	11,838	100.0	12,647	100.0	809	6.8
資源・金属素材関連	2,811	23.7	2,671	21.0	▲139	▲5.0
産機・建機関連	4,271	36.1	4,070	32.0	▲201	▲4.7
環境設備関連	649	5.5	1,538	12.1	888	136.7
化成品関連	2,848	24.1	3,229	25.4	380	13.4
プラント・設備工事関連	1,131	9.6	1,010	8.0	▲120	▲10.7
不動産賃貸関連	189	1.6	191	1.5	2	1.2
セグメント間調整額	▲63	▲0.5	▲63	▲0.5	0	-
売上総利益	2,817	23.8	3,179	25.1	361	12.8
販売費及び一般管理費	2,106	17.8	2,246	17.8	139	6.6
営業利益	711	6.0	932	7.4	221	31.2
営業外収支	145	1.2	85	0.7	▲60	▲41.7
経常利益	856	7.2	1,017	8.0	160	18.8
特別利益	29	0.2	55	0.4	26	91.8
特別損失	0	-	0	-	▲0	▲91.0
税引前中間期利益	885	7.5	1,073	8.5	187	21.2
親会社株主に帰属する中間純利益	635	5.4	742	5.9	107	16.9
1株当中間純利益(円)	57.68		69.22		11.54	20.0
1株当中間配当金(円)	34.0		36.0		2.0	5.9

2. 収益の状況 1/2

売上高

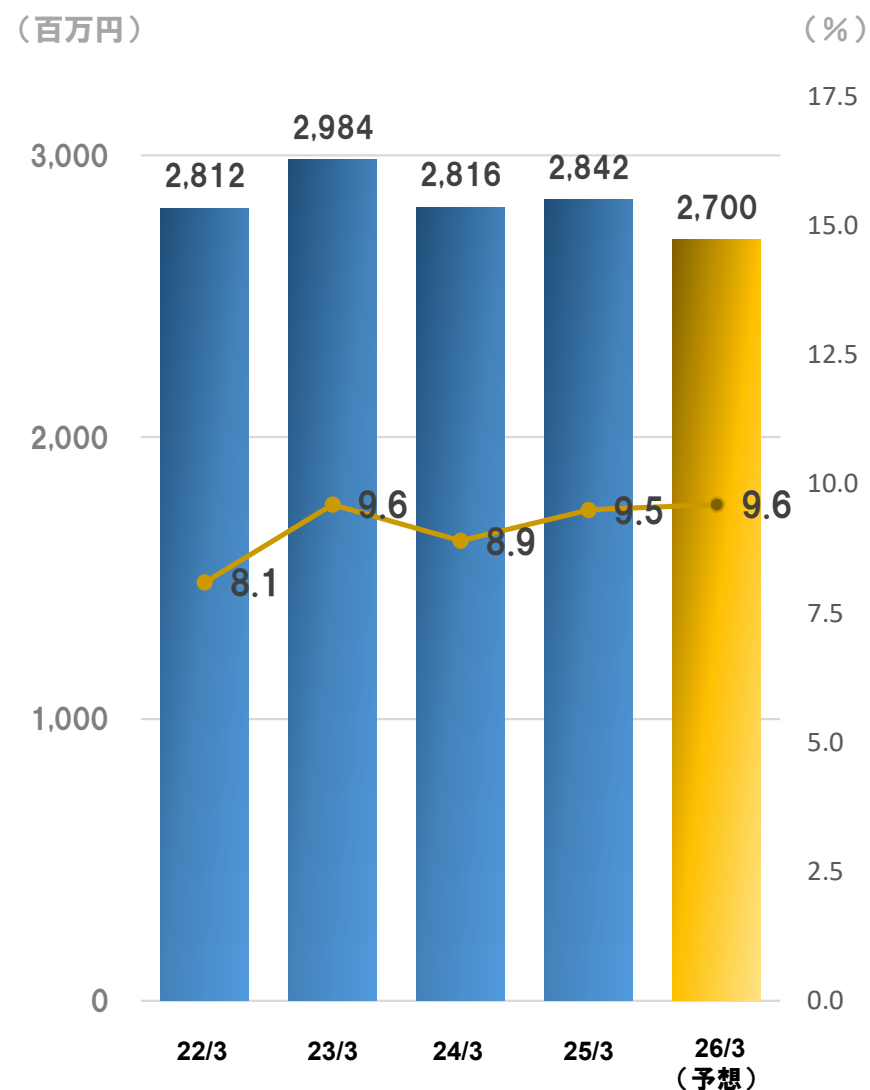


営業利益

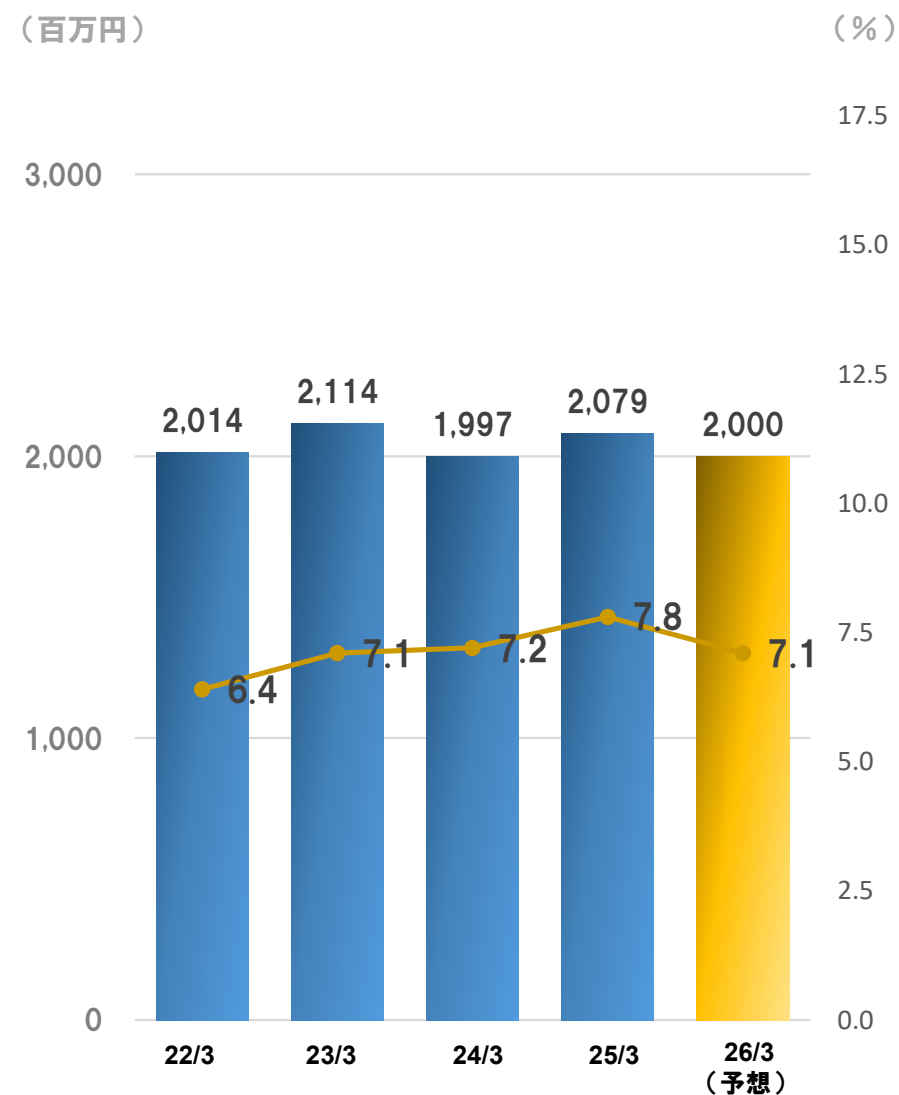


2. 収益の状況 2/2

経常利益／経常利益率

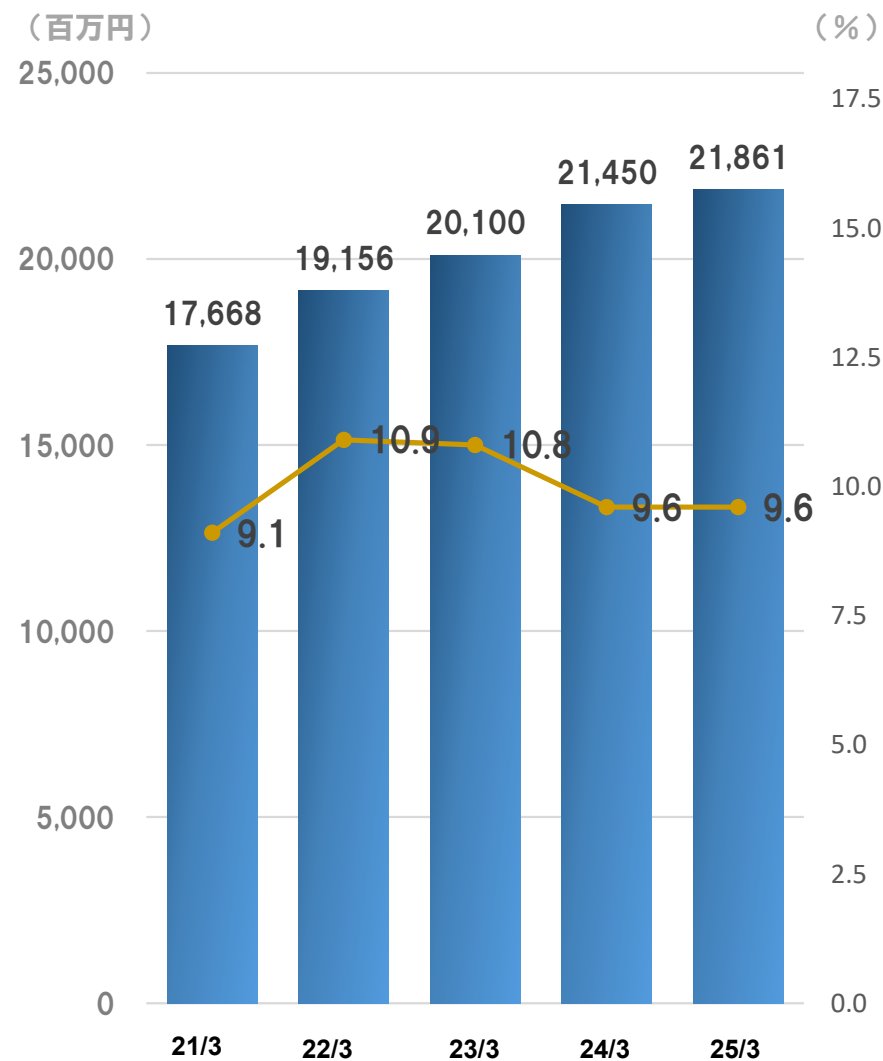


当期純利益／当期純利益率

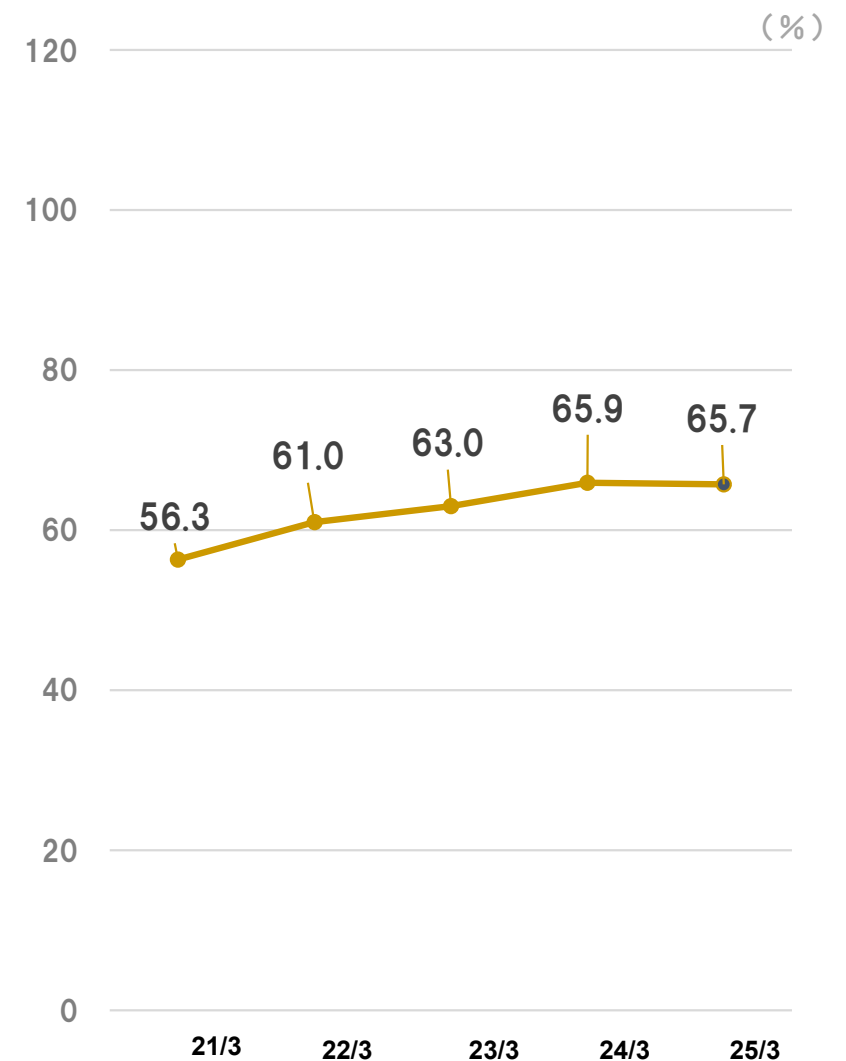


3. 財務の状況

純資産／ROE



自己資本比率



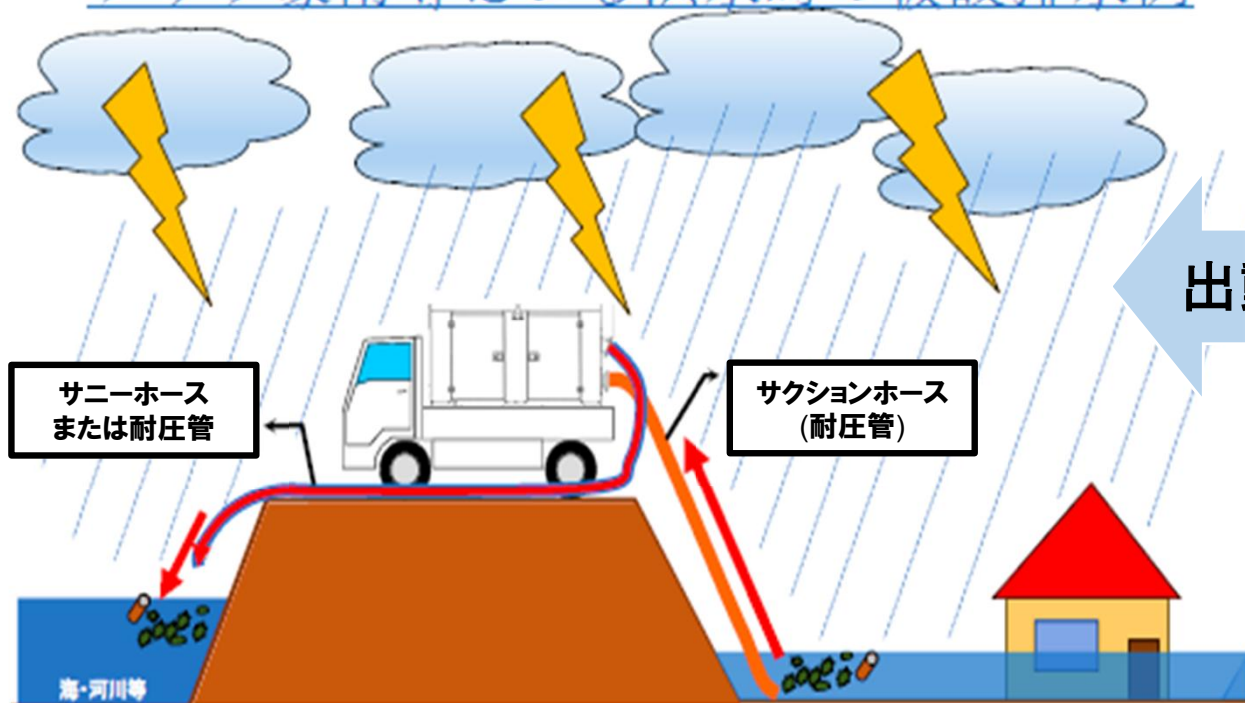
4. 関連用語集 産機・建機関連事業

用 語	内 容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	<p>オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。</p> <p>液体の性状に合わせ接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。</p> <p>また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鋳業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。</p>
ヒドロスタルポンプ	<p>スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。</p> <p>もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。</p>
シールド掘進機	<p>地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。</p> <p>当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。</p>

4. 関連用語集 産機・建機関連事業

用語	内容
SUPER BETSY	「 B ifunctional E fficient T ransfer-pump S ystem」の略。 複数の機能を有する効率的な移送ポンプシステムで、緊急排水ポンプ、災害用ポンプ、仮設ポンプのほかさまざまな用途・シチュエーションで大活躍する可搬式ポンプユニット。

ゲリラ豪雨等による洪水時の仮設排水例



4. 関連用語集 その他の事業

用 語	内 容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉬産物。 「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、 耐火材、鑄造用部材、セラミックス製品原料、半導体業界でのシリコンウエハーの研磨材 や、電子材料等など産業界において幅広く使用されている。

用 語	内 容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できる ように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。

用 語	内 容
回転機	電動機・タービンなどのように、軸を中心として回転する機械の総称。往復型機械に対して いわれる。

用 語	内 容
ワイヤーハーネス	複数の電線を束ねて一体化した部品で、電気や信号を送りたい場所へ安全かつ効率的に 伝達を行うためのものです。人間の体でいう神経や血管のような役割を果たし、電気製品 の駆動や制御に不可欠です。